

すがお校区道原地域の元気プラン 2024～2028

みんながずっと住み続けたい
安心・安全な道原



旧道原小学校体育館壁面レリーフ「道原楽」

ふれあいネットワーク



道原地域社会福祉協議会

ごあいさつ

すがお校区の道原地域では、住民みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指して、地域住民や公私の社会福祉関係者が協力して地域福祉活動を進めてきました。特に、北九州市で平成5年に開始されたふれあいネットワーク活動にも平成28年より取り組み、「自分たちの地域の福祉課題は、自分たちが解決していく」という目的の下、見守り・話し合い・助け合いの活動を中心に小地域福祉活動を進めてきました。

現在は、全国的に本格的な少子高齢社会となり、世帯構造についても大きな変換期を迎えています。北九州市においても急速な少子高齢化や、障害を持つ人の増加、孤立死やヤングケアラーの問題など地域の生活課題は一層の多様化を見せており、地域福祉の重要性の高まりが必要とされています。また、2020年からは新型コロナウイルス等の感染予防と地域活動との共存という難しい局面にも立たされています。その中で行政と民間団体との役割分担と協働の指針である「北九州市の地域福祉2021-2025」（北九州市地域福祉計画）が行政により策定され、また行政計画と協働しながら北九州市社会福祉協議会が中心となって地域社会の福祉課題を解決するため「地域共生！きたきゅうプラン2021～2025」（北九州市地域福祉活動第六次計画）が策定されたところです。

すがお校区道原地域においても、今後地域福祉活動をより進めていくために、地域福祉を担う各種団体がもう一度地域の福祉課題を共有し、課題解決に向けて話し合い、協働を生み出していく協議の場が求められています。そこで、北九州市の地域福祉計画及び北九州市社協の地域福祉活動計画と整合性を持ちながら、住民主導による地域福祉活動を進めるため、小地域福祉活動計画を策定しました。

この計画の策定にあたりご尽力いただきました本計画策定委員会委員並びにご意見をお寄せいただきました関係者の皆様に、感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

道原地域社会福祉協議会
会長 芳野 薫一

もくじ

ごあいさつ	1 p
第1章 計画策定にあたって	2 p
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 現状と課題	2 p
1 地域の特性や福祉課題	
2 人口・世帯数・高齢化率	
3 社会資源	
第3章 計画体系	3 p
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目（体系図）	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	7 p
1 計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第二次計画の策定	
4 推進委員会委員名簿	

第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、すがお校区道原地域の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、すがお校区道原地域に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 道原地域社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

令和6年度～令和10年度までの5か年とします。計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

すがお校区道原地域では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、すがお校区道原地域福祉活動計画策定委員会を設置しました。令和5年10月20日に立ち上げた同委員会において、7名の委員により4回に及ぶ協議の上、すがお校区道原地域福祉活動計画を策定しました。

第2章 すがお校区道原地域の現状と課題

1 地域の特性や福祉課題

すがお校区は、小倉南区の南部に位置し、区域の多くを山林や原野、田畑が占めるほか、福智山、紫川と豊かな自然に恵まれる地域です。校区内には学校や市民センター、少年自然の家、公民館などの社会的施設はあるものの、医療機関は校区外まで出かけるなければならない現状です。出かけるための、交通の便については公共交通機関は廃止され、業務を委託された「お出かけ交通」が1日に4往復しか運行しておらず、不便さの中で生活している状況です。高齢化も進んできており、世帯構成についても高齢者の単身世帯が占める割合が高くなっています。それに伴い、空き家も多くなり、年々世帯数も減少してきています。

すがお校区道原地域は平成28年よりふれあいネットワーク



紫川上流「菅生の滝」

活動を展開してまいりました。少子高齢化が進み、道原地域は高齢化率が高いため、福祉協力員等福祉活動者の平均年齢も高くなっています。福祉協力員の引き受け手も少なく、1人当たりの見守り世帯も多くなり、負担が大きくなってきています。そのために校区内では福祉活動者の早急な育成が求められています。また、福祉活動自体の見直しも迫られています。

2 人口・世帯数・高齢化率

	2003年 (平成15年)	2013年 (平成25年)	2023年 (令和5年)
人口	404	349	270
世帯数	157	154	145
高齢化率	35.6%	42.1%	51.1%

3 社会資源

小学校	すがお小学校
中学校	菅生中学校
福祉施設	両谷市民センター、おぶね保育園、特別養護老人ホーム春吉園
医療機関	なし
主な商店等	なし
その他	旧道原小学校校舎・体育館、旧道原サイクリングセンター、かぐめよし少年自然の家

第3章 計画体系

1 基本理念「みんながずっと住み続けたい安心・安全なむらづくり」

すがお校区道原地域では、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた道原で安心してこれかも住み続けたいと思えるむらにしたいと願っています。そこで「みんながずっと住み続けたいむらづくり」という言葉を計画の基本理念として、計画を推進していきます。

2 基本目標

(1) 助け合いの意識を高め、住民同士の見守り活動を広げよう

福祉活動の広報啓発や子どもたちへの福祉教育を通じて、地域に福祉の風土を広げます。

(2) 集いの場を広げ、住民同士のふれあい・交流を深めよう

地域交流の場所の設置やイベントを企画して、住民間のつながりを強めていきます。

(3) 生き生きと元気に過ごせる健康づくりを支援しよう

地域住民の心と体の健康増進を目指し、声をかけ、誘い合いながら互いの活動を支援していきます。

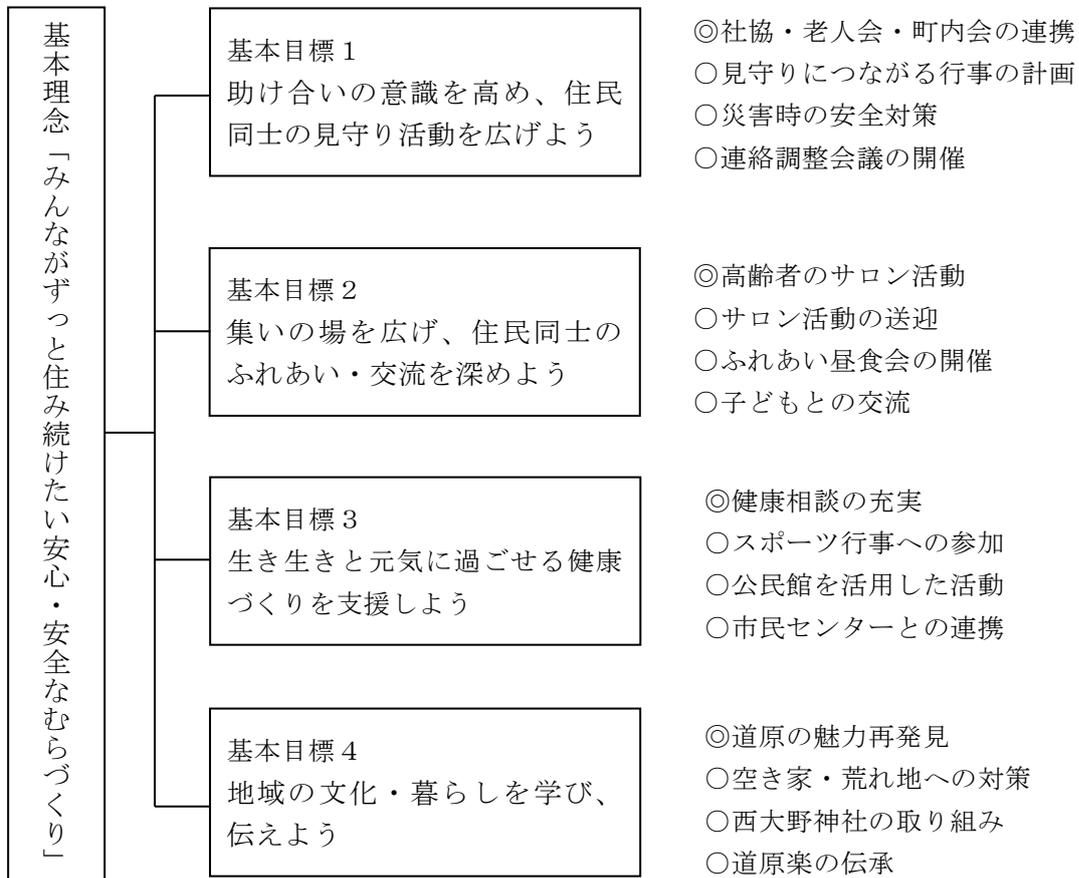


昭和30年頃「道原小学校」

(4) 地域の文化・暮らしを学び、伝えよう

地域住民みんなが安心して暮らせるよう公私の社会福祉関係者と支援の輪をつくり、地域行事への住民の主体的参加による福祉活動をすすめます。

3 実施項目（体系図） ◎…重点項目



昭和49年道原小学校創立100周年記念「道原楽」

4 重点実施項目

重点実施項目 1		社協・老人会・町内会の連携					
1 課題・背景（重点項目とした理由）							
道原地域では高齢化率が高く、高齢者の単身世帯も多い。コロナ禍により地域の諸行事が中止され地域住民の交流の場が無くなった。規制緩和の後、諸行事は再開されつつあるが、参加者は少ない。							
2 活動の方針・目標							
以前行われていた行事を再開させる。住民同士の助け合いの意識を高めるために中心となる社協・老人会・町内会の連携を図る。社協・老人会・町内会それぞれの組織において話し合いの場を定期的で開催する。また、それぞれの会の代表によるまちづくり運営会議を開催し、計画・実行・振り返りを行うようにする。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	5年後の達成目標
社協・老人会・町内会の定例会議	社協 老人クラブ 町内会						月1回の定例会議 年3回の運営会議
まちづくり運営会議の開催							
防災・見守り計画の策定							

重点実施項目 2		高齢者サロンの活動					
1 課題・背景（重点項目とした理由）							
年々高齢者の割合が増え、ヘルパーやデイサービス車を見かけることが増えている。少しでも地域の中で、高齢者の活動ができる機会を多くしたい。現在行っているサロンへ高齢者の参加は少ない現状である。							
2 活動の方針・目標							
サロン活動の周知を図り、多くの参加を呼び掛けていく。運営するための支援（人的、経済的）の方法を考える。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	5年後の達成目標
サロン活動の運営	社協 老人クラブ 町内会 子ども会						隔月 第2・第4土曜日 定期開催
サロン活動の点検・評価							
サロン活動への支援方法検討							

重点実施項目 3		健康相談の充実					
1 課題・背景（重点項目とした理由）							
高齢者の多くは何らかの体調不安を抱えている。近くに病院がない道原地域において、健康・体力の保持増進は欠かせない課題である。							
2 活動の方針・目標							
公民館での健康相談会をサロン活動の中に位置付けて開催する。スポーツ行事については、体育委員会もかかわり、老人クラブが行っているグランドゴルフへの参加を広く呼びかける。校区ふれあい体育祭への参加を積極的に募る。市民センターの健康講座と連携していく方法を検討する。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	5年後の達成目標
公民館での健康相談計画立案	社協 老人クラブ 町内会 子ども会 市民センター						定期的な開催
スポーツ行事の計画立案							
市民センターとの連携							

重点実施項目 4		道原の魅力再発見					
1 課題・背景（重点項目とした理由）							
道原地域は恵まれた自然環境の中にある。福智山、紫川、菅生の滝、鱒淵ダムなど、それぞれの四季折々の美しさを感じることができる。少子高齢化が進み、その素晴らしさを活かし切れずに人口減少、土地の荒廃といった課題が年々深刻になっている。							
2 活動の方針・目標							
空き家、荒れ地を少しでもなくし、美しい道原地域を再生していく。県指定無形民俗文化財である道原楽の伝承を継続していく。すがお小学校校区にある西大野八幡神社での行事は地域に根差し、古くからおこなわれてきたものである。その行事への参加協力を通して道原地域の活性化を図る。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	5年後の達成目標
空き家、荒れ地への対策	社協 老人クラブ 町内会 子ども会 市民センター 小学校						時代に即した形での行事の実施
道原楽の伝承							
西大野神社の取り組み							

第4章 計画の推進

1 計画の承認と周知

- ① 道原地域社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- ② 計画を実施する上で必要な関係機関・団体への周知・協力依頼
- ③ 計画書概要版の作成、配布、ホームページやSNSを通じた地域住民への周知
その他、計画を推進していくために、計画の広報活動を行います。

2 計画を推進するための体制

(1) 道原地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、すがお校区道原地域福祉活動計画推進委員会を設置し、必要に応じ、以下のような計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な立案、実施
- ③ 進行管理の実施

(2) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間に第二次計画策定委員会を設置し、次期計画策定に向けて協議を進めていきます。

4 すがお校区道原地域福祉活動計画推進委員会委員名簿

	氏名	所属団体	役職	備考
1		道原地域社会福祉協議会	会長	
2		道原町内会	会長	
3		両谷地区民生委員・児童委員	会長	
4		道原老人クラブ	会長	
5		道原公民館	館長	
6		福祉協力員	代表	
7		すがお小学校PTA道原・頂吉地区分会	会長	
8		上頂吉町内	代表	
9		下頂吉町内	代表	

5 すがお校区道原地域福祉活動計画の策定状況

回	開催日	参加人数	主な協議事項
1	令和5年10月20日	6人	役員会 1 計画策定スケジュールについて 2 策定委員会メンバーについて
2	令和5年11月2日	6人	策定委員会 1 小地域福祉活動計画について
3	令和5年12月8日	6人	策定委員会 1 小地域福祉活動計画について 2 グループワーク

			地域の特性・課題について 基本理念・重点項目について
4	令和6年 1月12日	6人	策定委員会 1 グループワークの振り返り 2 計画書の草稿について 3 計画の印刷について 4 計画の広報について
5	令和6年 1月26日	15人	役員会 1 計画書の提案
6	令和6年4月町内総会		全世帯へ計画書の配布

★社会福祉協議会のイメージキャラクター★



『プチボザウルス』 (Petit vo saurus)

Petit (プチ：ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス≡恐竜)

道原地域社会福祉協議会

〒803-0279 北九州市小倉南区徳吉南1丁目6-10 両谷市民センター内
TEL 093-451-1138 FAX 093-451-1138

小倉南区社会福祉協議会

〒802-8510 北九州市小倉南区若園5丁目1番2号
TEL 093-951-5388 FAX 093-951-5391

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号ウエルとばた内
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351
<http://www.kitaa-shakyo.or.jp/>